

拡大渉外委員会 委員長方針

担当副理事長 佐野 洋一
委員長 江口 滋基

宇治青年会議所は、私が入会させていただいた8年前当時、約80名の会員が在籍しておりました。その後、時代の流れと共に会員の減少は加速し、本年度は過去最低の20名余りでのスタートとなります。そのような中、我々は、公益法人制度改革による法人格移行に対応していかなければなりませんし、また、2013年度の近畿地区大会の主管という大きな役目に向けて邁進していかなければなりません。正に本年度は、これまでにない変革を求められる年になると考えます。

40歳で卒業しなければならない青年会議所において、会員拡大とは最も重要な活動であり、毎年高い目標をもって取り組むべき課題です。我々は明るい豊かな社会の実現に向け青年会議所運動をしていますが、その運動を広げる最大の活動は、多くの仲間を増やすことだと思います。そのためには入会を希望する方から信頼を得なければなりません。また、会員拡大は毎日の中で指導力を高めていく青年会議所活動でもあり、常に事業等の動員に励んでいる事と同じだと考え、取り組んでいくべきものです。そして、このまちは必ず我々と同じ高い志をもつ青年がいると確信しています。その様々な異業種の青年が集まり議論し、強い決意を持って自分ら地域のために事業を展開することは必ず地域社会の発展に繋がります。そのためにも、我々の活動を今まで以上に地域に発信すべく広報活動にも注力し、多くの志高き仲間を募りたいと考えます。

本年度、会員拡大渉外委員会では、一步ずつ確実に結果を出すことを目的に、メンバー全員を対象に、会員拡大の重要性と自らがやらなければならないことを再認識いただく活動を行い、メンバー一丸となって会員拡大に取り組む体制を構築致します。ホームページでは事業告知や活動記録だけでなく、メンバーの紹介欄を設け、会員拡大に繋がります。これからは、今まで以上に南部4LOMの連携が求められますので、更に強力な連携体制の構築に向けた事業を開催いたします。また、近畿地区協議会や京都ブロック協議会の各事業への参加動員を強く行うことで、入会間もないメンバーに、JCの基本を学ぶ場だけでなく、LOMだけでは味わえない幅広いエリアでの友情やスケールの大きな青年会議所の魅力を伝える機会を提供したいと考えます。

本年度、当委員会は10名の入会を目標とします。その目標達成のために、まず、委員会メンバーが考え、挑戦し行動致します。そして、多くの仲間を得、更に継続的な会員拡大の流れを構築していくことが、会員拡大の連鎖を呼び、より強固な組織へ繋がると確信しております。私は心の底から「多くの同じ志をもつ仲間と出会い、共に笑い、泣き、感動を分かちあいたい」と考えております。その想いのもと、己の使命を全うすべく全力で取り組む所存です。